

自衛隊と締結した覚書の撤回と  
国による余剰米の買い上げ・活用

倉茂 政樹

(日本共産党新潟市議会議員団)

自衛官募集に関し、自衛隊に  
対する若者の住所・氏名の提供に  
ついて自治体に提出の義務はなく、  
自衛隊の要請に応える必要もない。  
命の危険を伴う自衛隊に、本市が  
若者の個人情報を提供していいの  
か。自衛隊と締結した情報提供の  
覚書を撤回するべきではないか。

これまで住民基本台帳の一部  
を自衛隊が閲覧し書き写すことで  
情報提供してきたが、今後行う紙  
媒体での提供に、プライバシー権  
侵害の問題はないと認識している。

自衛官募集事務  
市町村では行政担当者  
に委託し、募集対象を  
特定し、市町村長に  
報告している。

コロナ禍で米が余る一方、食  
べられない人が増え、各地で食料  
支援が行われている。国は過剰在  
庫の米を買い上げ、コロナ禍で苦  
しむ国民、学生へ大規模に供給す  
る仕組みを創設すべきではないか。  
過剰在庫の買い上げは、平  
成30年度からの新たな米政策と相  
いれない。過剰在庫の解消には、  
需要に応じた生産が重要と考える。

(仮称)上所駅の整備と  
スケートボードパーク設置

内山 航

(翔政会)

(仮称)上所駅に関する住民  
との意見交換では、設置が決まっ  
た場合は供用開始まで3〜4年か

かるとされていたが、駅前広場  
についての議論はどうなっているか。  
今年度、駅前広場などの整備  
の在り方について住民との意見交  
換を重ね、令和4年度中には新駅  
周辺の施設整備計画の全体像が示  
せるよう努めていく。

スケートボードパークの整備  
について、小学生から市長に要望  
が出された。新潟駅前などのマ  
ナーについてこれまでも議論され  
てきたが、東京2020オリンピック  
競技大会以降さらに注目が集ま  
る中で、本市にはスケートボード  
をする場所がないのが現状である。  
施設整備についての考えは、

競技人口やニーズを把握し、  
施設整備にかかる経費、運営や維  
持などに必要な費用も踏まえなが  
ら、総合的に判断していく。

地場産業の育成と  
若者を選ばれる都市新潟市

高橋 三義

(新市民クラブ)

日本全国の自治体も企業誘  
致に力を注ぎ、誘致条件の良さ  
についてしのぎを削り競争する  
のではなく、地場産業の育成に力  
を集中すべきと考えるが見解を  
伺う。

本市の強みである食や農の分  
野で事業者を支援するなど、引き  
続き、地場産業育成に取り組む。  
市長は「選ばれる都市 新潟  
市」を目標にしたまちづくりを考  
えているが、若者から選ばれるた  
めには、条件次第で定住させるの  
ではなく、新潟市には魅力がある  
から住みたいと思わせるように取  
り組まなければならない。若者か  
ら選ばれる都市を実現するために  
必要な施策は何か見解を伺う。

コミュニティ・スクールと  
プログラミング教育

小山 進

(新潟市公明党)

子どもの幸せを最優先する社  
会の構築には、大人との受容的な  
関係性を築くことが大切であり、  
将来コミュニティ・スクールがプ  
ラットホーム的な役割を担うべき  
と考える。令和4年度の本格実施  
に向けた本市の取り組みを伺う。

市長部局と連携しながら、コ  
ミュニティ・スクールの制度や効  
果、モデル校での実践内容を広く  
周知し、市民の理解を深めていく。  
(教育長)

住者の教を未の地  
域者担す会、も「で  
支援助と議しどを  
や支担と議しどを  
地や支担と議しどを  
者や支担と議しどを  
保護学校を運に担う  
民、他、職、学、学、  
他、職、学、学、

2020年教育改革によって、  
学習指導要領が改訂され、プログ  
ラミング教育が導入された。本市  
では、令和2年度から小・中学校  
で実施し、最低限取り組み事例を  
各学校と共有しているが、これま  
での取り組みの評価と課題を伺う。

これまで利用環境の整備不足  
などからプログラミング教育が十  
分に行われていなかったが、タブ  
レット端末が整備されたため、充  
実した教育ができるよう指導する。  
(教育長)

決算特別委員会

決算特別委員会は、決算関係の議案を認定すべきかどうかにつ  
いて審査するために設置する特別委員会です。

9月22日の本会議において、令和2年度の一般会計および特別  
会計の歳入歳出決算の認定議案が市長より追加提案されました。

市議会では決算特別委員会を設置し、委員47人(議長および監査  
委員2人を除く議員で構成)を選任、4つの分科会に分かれ予算の  
執行状況や成果について審査を行いました。

10月15日の委員会で各分科  
会の委員長報告、意見・要望  
を行い、採決の結果、賛成多  
数をもって決算を認定すべき  
ものと決定しました。

なお、この委員会での審査  
の経過および結果については、  
直近の本会議で報告し、採決  
する予定です。



決算特別委員会の様子

決算特別委員会の主な流れ

9月22日	決算特別委員会設置および委員の選任 正副委員長互選および分科会の設置 各分科会正副委員長互選	【本会議】 【決算特別委員会】 【各分科会】
9月30日	閉会中の継続審査、審査日程を決定	【決算特別委員会】
10月4日	閉会中の継続審査を決定	【本会議】
10月6日	決算の総括説明(副市長) 決算審査意見書の概要説明(監査委員) 副市長・教育長説明	【決算特別委員会】
10月7日~12日	所管事項の審査	【各分科会】
10月13日	意見集約	【各分科会】
10月15日	各分科会委員長報告、意見・要望、採決	【決算特別委員会】

決算特別委員会名簿

委員長 佐藤 豊美

副委員長 佐藤 誠

◎…分科会委員長 ○…分科会副委員長

第1分科会(11人)

(総務常任委員会所管分を審査)

- ◎ 加藤 大弥 保苅 浩
- 田村 要介 豊島 真
- 阿部 松雄 渡辺 有子
- 平松 洋一 志賀 泰雄
- 小野清一郎 高橋 三義
- 高橋 哲也

第2分科会(12人)

(文教経済常任委員会所管分を審査)

- ◎ 吉田 孝志 風間ルミ子
- 内山 航 小柳 聡
- 水澤 仁 高橋 聡子
- 荒井 宏幸 佐藤 誠
- 土田 真清 内山 幸紀
- 東村里恵子 青木 学

第3分科会(12人)

(市民厚生常任委員会所管分を審査)

- ◎ 深谷 成信 小林 弘樹
- 伊藤健太郎 飯塚 孝子
- 佐藤 豊美 細野 弘康
- 佐藤 耕一 松下 和子
- 美のよしゆき 石附 幸子
- 小野 照子 小泉 仲之

第4分科会(12人)

(環境建設常任委員会所管分を審査)

- ◎ 竹内 功 佐藤 正人
- 宇野 耕哉 林 龍太郎
- 金子 益夫 倉茂 政樹
- 佐藤 幸雄 小山 進
- 栗原 学 志田 常佳
- 皆川 英二 中山 均